

建設だより

市民病院整備事業地域版 創刊号 2012・6

市民病院が生まれ変わります!

平塚市民病院は、これまで「市民のための総合病院」として、良質な医療の提供に努めてまいりました。しかし、近年耐震診断で、昭和45年に建設された南棟の耐震性能に問題があることがわかり、早急な建て替えが必要となりました。そのため、万が一の災害時にも病院機能を維持できるよう、新棟建設を含めた市民病院整備事業を現在進めています。

つきましては、周辺にお住まいの皆様にご理解とご協力をお願いいたしたく、今後この「建設だより」で業務の進捗状況などをお知らせしてまいります。整備期間中は何かとご不便、ご迷惑をおかけ致しますが、宜しく願いいたします。



整備事業完成予想図

整備手順

病院の診療機能を維持しながら、新棟(地上6階、地下1階)の建設と既存北棟の改修などを平成28年度完成予定で整備を進めます。

- Step1: 仮設救急棟等の建設、旧看護師宿舎の改修を行います。
- Step2: 管理棟、救急棟などを解体し、その跡地に新棟を建設します。
- Step3: 新棟と既存北棟で稼働できるようになったあと、南棟と仮設救急棟を解体し、その跡地にバスロータリーなどの外構工事を行います。



新棟の防災機能

地震対策：免震構造を採用します

水害対策：電気室・熱源などの設備機械を最上階に設置します。

全館の防災情報を一元的に管理する防災センターを整備します。

災害拠点病院として必要なヘリコプター離着陸場を屋上に設けます。

※万が一、水害（洪水、津波）が発生した場合は、新棟の外階段を利用し上階に避難可能です。

現在の進捗状況

昨年度、オイルタンク等移設工事や仮設救急棟の工事に着手しました。

今年度、保育所棟の建設、旧看護師宿舎の仮設改修を開始します。



オイルタンク等移設工事現場



仮設救急棟工事現場



保育所棟工事現場

病院敷地内の土壤汚染調査結果への対応について

平成23年度の調査では、「鉛及びその化合物」「フッ素及びその化合物」「ヒ素及びその化合物」が病院敷地内の一部で基準に不適合である結果が出ました。地下水等の調査では基準に適合していることから現時点で周囲への影響はありません。今後は、関係法令に準拠した地下水監視を実施するなど、必要な対策を行っていきます。

病院長よりご挨拶

私共は市民の皆様が安心して毎日の生活を送れますよう、24時間・365日受け入れできる救急医療や分かりやすくかかりやすい高度な専門医療を提供でき、大規模災害時にも対応できる病院づくりを進めております。

引き続き、安心して安全な医療を提供していきますので、この整備事業に何卒ご理解の上ご協力いただけますようお願い申し上げます。

平塚市民病院 病院長 石山 直巳

お問い合わせ等

〒254-0065 神奈川県平塚市南原 1-19-1

平塚市民病院 改築推進室

電話：0463-32-0015 内線 5213、5337 FAX：0463-31-2847

E-Mail：kaichiku@city.hiratsuka.kanagawa.jp